

広島市植物公園 見どころ案内

2023年5月20日
通巻第583号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内
◇展示資料館 (4/15~6/7)
特別企画展「牧野富太郎と広島」
◇展示温室
ハーブ展 (5/16~5/28)

バラ (バラ科)

青色のブルームーンや、華やかに咲くグラナダ。バラの殿堂入りを果たしたパパ・メイアンなど多くのバラが見頃です。バラ園ガイドマップ (バラ園内に設置) を手にご観賞ください。ローズフェスティバル開催中 (5月31日まで開催)

キンシャチ

(サボテン科)

大きな丸い姿が人気です。今の時期は、花も見るができます。

コモンマロウやスベアミントなど、ハーブを展示中

コブラオーキッド、キノルキスなど珍しい野生ラン

ヒスイカズラ (マメ科)

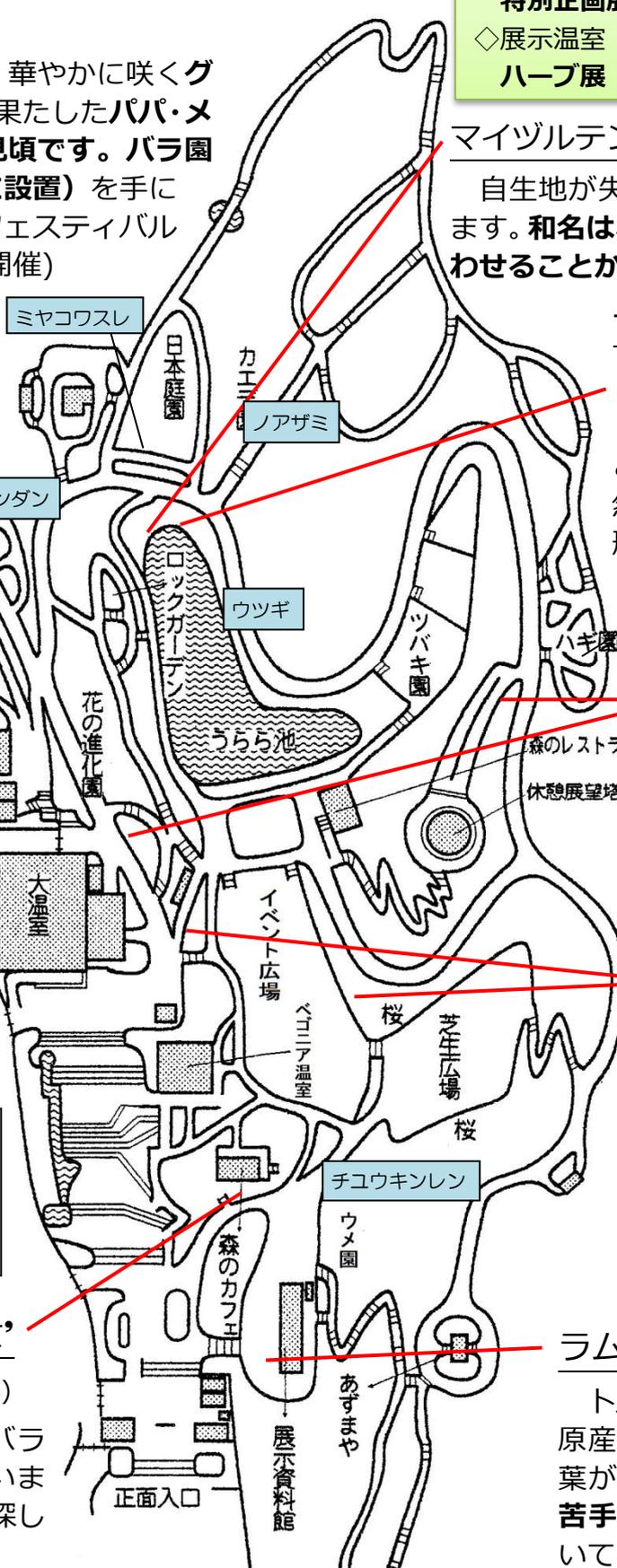
フィリピン原産。勾玉のようなヒスイ色の花を咲かせることが名前の由来になっています。

★大温室で見頃の花 ナンヨウザクラ、トーチジンジャー、バナナ、レンブ、カトレヤ、ヒメアリアケカズラ、タッカ、アリストロキア、メディニラ、[カカオ、バナナ、黄金ココヤシ、ココヤシ、ソーセージノキ、コーヒー (以上は果実)]

ミニツルバラ ‘夢乙女’

(バラ科)

ログガーデンの周辺のバラや草花がたくさん咲いています。中にひそむ‘夢乙女’を探してみてください



マイヅルテンナンショウ (サトイモ科)
自生地が失われ、絶滅が心配されています。和名は、その草姿が鶴の舞う姿を思わせることから。

サイジョウコウホネ

(スイレン科)

広島県固有種。コウホネとベニオグラコウホネの自然交配種で、その中間的な形質を持っています。

アオバナエンジュ、タチバナ

カルミア (ツツジ科)

北アメリカとキューバに分布する常緑低木で、アメリカシャクナゲとも呼びびます。つぼみも金平糖のようで可愛いです。

ヤマボウシ (ミズキ科)

新緑の中で白い花が目につきます、と言いたい所ですが、花びらのように見えるのは、実は葉が色づいたもの。本当は小さな花が、真ん中に丸く集まって咲いています。

ラムズイヤー (シソ科)

トルコ、アルメリア、イラン原産の草花で、ふかふかした葉が可愛いのですが、長雨が苦手です。軒下できれいに咲いています。